

私立 松山東雲女子大学 松山東雲短期大学

取組名称 「自己成長」をサポートするきめ細やかな就職支援体制の確立

取組担当者 就職進路支援部長 曲田志保子

1. 本学の概要

松山東雲女子大学、松山東雲短期大学は信仰・希望・愛であらわされるキリスト教精神に基づく教育を掲げて、1886(明治19)年創立された、松山女学校を母体とし、創立124年を迎える。

松山東雲女子大学は1992(平成4)年に開学し、人文科学部心理子ども学科、国際文化学科の1学部2学科体制で現在490名の学生が学んでいる。2011(平成23)年度には教育内容を刷新し、心理子ども学科にまとめられ、子ども・心理・福祉・英語コミュニケーションの4つの専門分野の各コースに属し、学んでいく予定である。

松山東雲短期大学は1964(昭和39)年に開学し、愛と知性を育む教育の実践を心がけている。現在は保育科、秘書科、生活科学科食物栄養専攻、生活科学科生活デザイン専攻、生活科学科介護福祉専攻の5つの学科・専攻体制で618名の学生が学んでいる。2011(平成23)年度からは組織の合理化・スリム化のため秘書科の中に生活デザイン専攻の一部が組み込まれ、4つの学科・専攻体制に変わり、各分野の教育内容の一層の充実が図られる。

2. 本取組の概要

本学では、大学：全11回、短期大学：全7回の就職ガイダンスの開催に加え、低学年から取り組めるプログラムとして、ライフプランニング、インターンシップ、資格取得等の多岐にわたる能力向上プログラムを展開している。しかしながら、職業意識の低い学生はその存在と重要性に気づくことなく卒業する場合も多く、これらの学生に対しては個別のアプローチが必要不可欠である。

2010(平成22)年3月卒業を控えた学生にもその対応は急務であり、自己の適性と存在価値を見出し「自己成長」をサポートし、自信を持って社会に出られるよう、一人ひとりと向き合える態勢をより強化する。

そのために、地元優良企業と協力し、企業における新人教育等の経験者を専属の就職相談員として雇用する。それと同時に、ジョブカフェ愛ワークと連携することによって、週1日、キャリアコンサルタントを招聘し、電話でのアプローチや個別進路相談等を実施し、学生の就業意識を高めることはもちろん、就職進路支援課員は、相談のノウハウの修得と学生対応の強化を図る。併せて愛媛県内の企業見学会を積極的に実施し、企業とのつながりを深くし、具体的な会社内容や実地研修指導も企画実行する。

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

(1) 本取組の趣旨・目的

雇用情勢が急激に悪化し、回復の見通しが読めない現状は非常に深刻である。この状況を打開するため、地元優良企業から就職相談員を雇用し、社会人として求められるスキルだけでなく、地元企業が真に必要とする人材について学生に周知する。また、地元企業で積み重ねた人脈を生かし、個別のニーズにあった求人情報の開拓も実施する。

これに加え、ジョブカフェ愛ワークとの連携により、経験豊富なキャリアコンサルタントを招聘し、学生の個別相談や電話でのアプローチを実施する。これにより、自主的に行動することのなかった消極的な学生との個別相談の機会ができ、就業意欲を高めることができる。

また、地元企業への見学会を実施し、「会社とは何か？仕事のやりがいとは何か？」を実際の現場を見ることで、就業意識の向上を図る。

これらのことを実施することで、職業意識の低い学生に対する個別相談の機会を拡大し、「自己成長」をサポートするための支援態勢を確立する。

(2) 本取組の達成目標

現在本学では、大学・短期大学合同の組織である就職進路支援部会を中心に、アドバイザーと呼ばれる学

生ごとの担当教員と協力し、進路支援に取り組んでいる。

本取組では、地元優良企業からの専門知識を持った就職相談員と現スタッフ及びキャリアコンサルタントが協力し、電話でのアプローチや個別相談の機会を増やし、現在の進路支援体制をより強化する。

これらを組み合わせて実施することで、企業見学会やガイダンス、各種プログラムへの参加者数、進路相談利用者数等の増員を目指す。このような様々な関わりを通して「自己成長」をサポートし、就職希望者数の増加と高い就職率の維持を目標とする。

まずは、ジョブカフェ愛ワークとの連携を密にし、就職希望者数の増加と高い就職率の維持を達成するため、経験豊富なキャリアコンサルタントを招聘し、個別相談体制を強化する。個別相談が増えると、今まで活動していなかった学生や受験の失敗から立ち直っていない学生等、様々な状況に合わせた対応が可能になる。

地元優良企業から採用する就職相談員は、現有スタッフとともに、電話でのアプローチや個別進路相談の充実に努めるだけでなく、企業との直接的なパイプ役として個々のニーズを把握し、それに合った求人情報を提供する。このようなきめ細かな対応により「自己成長」をサポートする。

また、企業見学会では、実地研修指導をすることで、より一層の職業意識を高める。

4. 本取組の具体的内容・実施体制

(1) キャリアコンサルタントの招聘

ジョブカフェ愛ワークと連携し、3名のキャリアコンサルタントを紹介してもらい、個別相談及び少数グループによる面接対策講座を実施している。

個別のカウンセリング及び電話による個別アプローチは、当初週1回程度の派遣を依頼していた。しかし、2009(平成21)年度卒業生に対する電話によるアプローチにより、学生の個別のニーズを確認することができ、より具体的な求人状況の提供やカウンセリングを実施することができたため、現在は週2回程度、2名のキャリアコンサルタントが個別の相談に対応し、好評を得ている。個別面談は基本的に学生の都合の良い時間に、面談してもらいたいキャリアコンサルタントを指定し予約を取り、30分から1時間を1枠として実施される。キャリアコンサルタントは予約を待つだけでなく、積極的に電話をかけ、相談のきっかけをつ

くり、進路についての個別相談や具体的な求人状況の提供、履歴書の書き方等にも対応している。また、状況に応じて、ジョブカフェ愛ワークへの登録も紹介し、定期的な支援を受けたり、各種講座への参加を促進したりする。

また、少人数グループでの面接対策講座は、個別相談だけでは得ることのできない学生同士の意見交換や具体的な自分の長所、短所について知るなど「他己分析」も可能となり、自分を見直す絶好の機会となる。就職活動を諦めかけていた学生や今まで行動できていなかった学生を後押しし、支援する。この講座も非常に好評で、10月からは少人数による「講座」と具体的な受験先に対応した模擬面接を実施し、秋採用や欠員募集による求人情報に対応する。

キャリアコンサルタントを招聘したことは、就職進路支援課のスタッフにとって、面談のノウハウを修得する良い機会となっている。また、本学は以前より個別の支援を重要視し、一人ひとり向き合うことを大切に「顔の見える支援」を実践してきたが、多くの時間を割き、業務時間内にすべて対応することは非常に困難であった。しかしながら、キャリアコンサルタントを招聘したことで余裕をもった対応が可能となった。



写真1 キャリアコンサルタントによる個別相談



写真2 少人数グループによる面接対策講座

(2) 地元優良企業からの就職相談員の雇用

地元の優良企業である株式会社伊予銀行から、企業における部活動指導を経験した職員を8月より雇用した。当初の予定より雇用時期は遅くなったが、地元企業での人脈は広く、個別のニーズにあった企業開拓や面接指導、企業情報の提供等幅広く対応している。今後は企業での経験を生かし、社会人として求められるスキルを伝えることはもちろん、地元企業が真に必要なとする人材についても学生に周知する。

現在は広い人脈を活かし、学生と企業のパイプ役となるため、地道な求人開拓を進め、個別の企業のニーズと学生のニーズを合致させる取組を実践している。今後もこれらの地道な活動を広げるべく求人開拓及び学生個別面談を実施する。

(3) ジョブカフェ愛ワークによる企業見学会の実施

地元企業と深く広いつながりのあるジョブカフェ愛ワークと連携をとり、2回の「企業見学バスツアー」を開催した。

ジョブカフェ愛ワークには、見学実施対象企業の選定から企業見学ツアーの開催案内チラシ及び申込用紙について業務を委託し、実施した。まずは、見学実施対象企業についてジョブカフェ愛ワークと十分に話し合い、見学対象企業の選定の際、「定期的な採用が見込まれる企業」「各種業界の企業」「女子学生の応募が見込まれる企業」等の条件により企業を選定し、企業へのアポイントや企業見学のための内容・日程についてチラシを作成し、(表1 会社見学バスツアー日程表)表の日程で案内した。

会社見学バスツアーへの参加希望学生は8月(10名)、9月(17名)で、出席した学生からは「それぞれの会社の特徴を見比べたり、実際に働いている方の仕

表1 会社見学バスツアー日程表

日	時	見学先
8/4 (水) 9時 集合	9:30~11:30	株式会社 愛媛銀行
	13:00~14:30	サイボウズ 株式会社
	15:00~17:00	株式会社 レデイ薬局
9/7 (火) 9時 30分 集合	10:00~12:00	富士火災海上保険 株式会社
	13:00~15:00	株式会社 セブンスター
	15:30~17:30	株式会社 よんやく

事の大変さや楽しさを聴くことができたりと有意義な時間となった」など好評を得た。

この会社見学バスツアーの目的は、仕事の現場を見るだけでなく「固定観念を捨てる」「視野を広げる」「前向きに物事を考える」ということを掲げ、実施をした。

先輩方の働く現場を見学するだけでなく、1日の仕事の流れやなぜこの会社を選んだのか、どんな気持ちで仕事に取り組んでいるのかを聞くことで、最初に持っていた職場のイメージと違うと感じる学生が多く、当初の目的を果たすことができた。

また、この企業見学バスツアーを開催する中で、サイボウズ株式会社や富士火災海上保険株式会社等、愛媛県や松山市が企業誘致し、雇用者数の拡大を図っている企業へも訪問することができた。

これを機会に、学生だけでなく職員も、今後の採用情報を得たり、希望者の少なかったIT企業への関心も深めたりすることができた。



写真3 会社見学ツアー(株式会社愛媛銀行)



写真4 会社見学ツアー（株式会社セブンスター）

5. 本取組の評価体制・評価方法

本取組による個別アプローチ、個別相談及び各種プログラムやガイダンス、企業見学バスツアーの実施状況等について、就職進路支援部会主催による【学生満足度アンケート】を実施する。

就職進路支援部会とは、松山東雲女子大学及び松山東雲短期大学の各学科・専攻の代表教員と就職進路支援課の代表職員によって構成され、これらの集計結果を学生に公開するとともに、学生代表による意見交換会を開催し、学生のニーズにあった内容に柔軟に改編できるように評価体制を構築する。

2009(平成21)年度は2月からの実施であったため、アンケート調査は実施できていないが、2011(平成23)年1月にはアンケート調査を実施する。

また、ジョブカフェ愛ワークとの連携により、キャリアコンサルタントの招聘と企業見学バスツアーを実施したことから、ジョブカフェ愛ワークとの意見交換も実施している。

6. 本取組の実施計画等

昨今の雇用情勢は依然厳しく、改善には至っていない。このような状況の中、本学では一人ひとりと向き合い「自己成長」をサポートするための取組を行ってきた。

本取組ではジョブカフェ愛ワークとの連携により、経験豊富なキャリアコンサルタントを招聘し、電話によるアプローチと個別相談の時間を十分に設けるなど、学生一人ひとりに合った対応を徹底してきた。このことで一人ひとりの状況が明確になるとともに、具体的な求人情報を提供することができた。以前から個別指導については徹底していたが、キャリアコンサルタン

トを招聘したことで、対応ノウハウも習得でき、職員全体のスキルアップも実現できた。

会社見学バスツアーでは、1日3社を訪問したことで、当初興味のなかった業種も見学し、興味を広げることができた。今後も継続して実施し、参加学生数の増加に努める。このツアーでは仕事の現場を知ることはもちろん、「固定観念を捨てる」「視野を広げる」「前向きに物事を考える」ということが目的であり、考え方を柔軟にし、今後の就職活動をスムーズにすることができる。

地元優良企業からの就職相談員は、2010(平成22)年8月からの雇用となったが、広い人脈を生かし、学生と企業のパイプ役となり、学生の個別のニーズにも応える取組を実践している。今後も常勤の職員として、学生相談はもちろん、学生の希望に応じた求人開拓を進めていく。

これらの取組が「自己成長」に繋がることを実証するため、2011(平成23)年1月に学生の満足度アンケート調査<就職進路支援課における各種取組について>及び学生代表による意見交換会を実施し検証する。

今回の取組により、現在までに開催した各種応援プログラムへの参加率、個別相談の利用者数が上昇し、この不況下においても2009(平成21)年度3月卒業生の就職率は、女子大学97%、短期大学99%と高い就職率を維持することができた。

また、今後も個別対応を十分に実施し、アンケート調査や意見交換会を継続することで、財政支援期間終了後もより満足度の高いプログラムに進化させることが可能である。

今後も厳しい就職活動が予想される昨今の学生には、「自己成長」できるように、個別の支援体制を整えるとともに、常に進化したプログラムを提供し、きめ細やかな支援体制を確立していきたいと考える。